



葛西臨海水族園前

統一協会との関係断絶 医療・介護・教育の充実 物価高騰から暮らしを守る区政を!

民主主義を守り、区民の声が届く区政に!

今区議会では、統一協会問題、コロナとくらし対策、保険証廃止、介護保険改悪、英語スピーキングテストなど国政・都政が区民に重大な影響を及ぼす問題を取りあげ、区の姿勢を質しました。「個人情報保護条例」の改廃、「ParkPFI」による公園の民営化、区議会への区民の声を狭める「定数削減」等に対し、区民の目線で民主主義を守る立場から反対しました。

統一協会被害者救済、寄付の返還、二世信者と面会を

区として、統一協会との関係を明確に断絶する立場で、区独自の被害者救済窓口の設置、過去に受領した寄付の返還、二世信者などから直接被害の実態を聞き取ることを求めました。区長は、「国の動向を注視する」とし、寄付の返還は「公金を使って返還

はしない」「当面の間関係を持たない方針は変わらない」と答弁。再質問で「当面の間ではなく、反社会的な統一協会ときっぱり断絶するとなぜ言えないのか」と迫りましたが、区長は答えませんでした。

健康保険証の廃止・マイナカード強制は撤回を

政府は突然、2024年秋にマイナンバーカードとの一体化で、健康保険証の廃止をめざすと表明。法律で任意とされているマイナカードの取得を強制するもので、国に撤回を求めるよう質しました。区長は、一体化による国民健康保険の事務の効率化と人件費削減のメリットを強調しました

が、カードの再交付に時間がかかるデメリットは否定できませんでした。国民皆保険を守るためには、保険証の廃止を撤回するしかありません。



介護保険制度の改悪ストップを

政府は2024年度からの介護保険制度の改定に向けて、要介護1・2の人の介護サービスを保険給付からはずし、原則1割の利用料を2割以上に値上げするなど、「保険あって介護なし」の改悪を一層進めようとしている

ます。区長は「負担と給付」のバランスを強調しましたが、全国の介護関係団体がこぞって撤回を求めていることを示すと、「全国市長会として、過重な負担にならないよう国費引き上げを求めている」と答えました。

コロナ第8波感染拡大対策 物価高騰からくらし守れ!

新型コロナとインフルエンザの同時流行に対する、発熱外来センターなど医療の拡充や検査の充実など、いのちを守る対策の強化を求めました。また、急激な物価高騰に対し、国の給付対象にならない住民税均等割課税世帯への区独自給付や給食費無償化を求めました。区長は、非課税のひとり親世帯等への支援を強調し、それ以外の区独自給付金や給食費無償化は、「区政の持続可能性の観点が必要」などと否定しました。

区立総合レクリエーション公園など 20年間民間に管理を丸投げ!

区民に広く親しまれている総合レクリエーション公園・新左近川親水公園を、新年度から20年の長期にわたり、その間議会の議決もなしに民間事業者の管理とすることを決定。

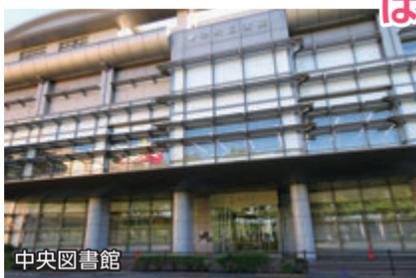


緑豊かな総合レクリエーション公園

ParkPFI(国の制度)の導入で、公園にかかわる規制が大幅に緩和され、園内にはカフェなどの収益施設が建設される見通しです。党区議団は、事前の利用者アンケート等が実施されず、施設建設にともなう樹木の伐採の恐れもあり、コスト削減と利益優先で、これまでの公園のあり方が失われることを指摘し反対しました。

図書館に指定管理者制度は なじまない

職員の処遇改善や研修の充実、図書購入は区内業者の利用などを、議会で求めてきました。専門職としての司書は長期の育成、経験の積み重ねが大事です。官製ワーキングプアにつながる再度の指定管理者の議案に反対しました。



中央図書館

補聴器購入補助の拡充を

補助金(3万5千円)は、非課税世帯・65歳以上が対象。希望者全員を対象を広げ、現物支給(約20年前まで実施)か補助金かを選択できるように、また、長寿健診(75歳以上)での聴力検査実施を求めました。

難聴を放置していると認知症を発症するおそれが高まると国際アルツハイマー病会議で指摘されています。補聴器で適切な「聞こえ」を維持して脳を活性化し、コミュニケーションを楽しんでいけば、認知症を予防し、発症を遅らせる可能性が高くなります。5年ごとの更新やアフターケアも重要です。



羽田空港の新ルート中止を従来の海上ルートに

荒川沿い新ルート(離陸便)は2020年3月末からはじまり、21年度の航空機区内通過は、着陸・離陸あわせ従来の3・5倍に増えました。

区議団が実施した区民アンケート(回答1403名)では、「新ルートの撤回」及び「いったん中止」を45%の区民が求め、落下物や環境悪化、健康被害などの心配もよせられました。また、



北風新ルートの航空機

新ルート「必要」は18%、「わからない」は18%という結果でした。区民の声を国に届け、新ルートの中止を求めよう区長に質しましたが、「必要があれば国に声を上げていく」という答弁にとどまりました。

英語のスピーキングテストは中止を都立高入試導入の撤回を

11月27日のテスト当日の諸問題(他の受験者の声が聞こえた。前半組受験中の解答音声も聞こえている等)に触れて質問。高校受験にとって大切な期末テストの時期に英語のテスト実施という設定に、区の教育委員会も「課題を報告する」としましたが、テスト及び都立高入試導入の「中止は求めない」と答弁しました。テストの見直しを求める陳情が、区議会文教委員会でも区の教育委員会でも趣旨採択(全会一致)となり、区民の声が一定反映されたといえます。区教委は、区民の声を受け止め、中止の立場に立つべきです。

子どもたちを励まし保護者が納得する教育行政を

● 急ぐな 「部活動の地域移行」

スポーツ庁は昨年6月に、土日の運動部活動を地域などの外部に移行するりましたが、予算措置や体制の保障はなく、民営化による部活動の有料化・自己負担増などが懸念されています。部活動の地域移行は拙速に行わず、部活動検討委員会を設置し、合意をはかっていくことを求めました。

● 特別支援学級・学校の増設を

知的障害学級は小学校14校、中学校9校あります。特別支援教育の対象児童は増えています。知的障害学級の増設、自閉症・情緒障害学級新設の検討などの特別支援学級の増設計画を持つこと、都に対し特別支援学校増設(葛西地域など)の要請を行うことを求めました。



都立鹿本学園

個人情報を守れ!

今議会では、国の法改定により、区の「個人情報保護条例」の廃止と「法律施行条例」が議決されました。これまでの区条例の「個人情報の保護は区民の基本的権利」という目的を大きく後退させる内容にもかかわらず、パブリックコメントさえ実施されませんでした。「匿名加工個人情報」の活用など大企業の利益を優先する議案として、党区議団は、委員会での審議と本会議での討論の上、反対しました。

区議会の民主主義が危ない!

自民党は突然、陳情を機に「経費削減のために、議員定数削減」を言い出しました。人口比率23区ワースト2の議員定数(44人)をさらに減らしたら、少数意見が排除され、民主主義的にも問題です。区も議会もすすめる「SDGs誰一人取り残さない・共生社会」にも逆行します。

経費削減を言うなら、報酬や政務活動費(議員1人月20万円)減額、費用弁償(会議出席手当一回3千円)廃止などを優先してやるべきです。

また、全国で不正利用が度々問題になる政務活動費。その領収書のインターネット公開を求める陳情が4年前に趣旨採択されていますが、実施されていません。党区議団は自主的にネット公開済です。

江戸川区

低所得のひとり親・ひとり親以外の世帯生活支援給付金

子ども1人あたり5万円支給。すでに国の「子育て世帯生活支援特別給付金」を昨年6月以降に受給している方は12月26日に振り込まれています。

【対象になるか問い合わせ】
☎03(5662)9029
(平日8時半~17時)

※詳しくは区のホームページをご覧ください。

日本共産党江戸川区議団

法律相談

各区議事務所・区議団控室では常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113(控室)

区議団ホームページに、2019・2020年度政務活動費の領収書を掲載しています。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



セバタ 勇 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/セバタ事務所
法律相談 ●1月19日(木)・2月16日(木)
受付:午後6時半~8時

FBは瀬端勇で検索を



小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小俣事務所
法律相談 ●1月11日(水)・2月8日(水)
受付:午後6時半~8時

FBは小俣のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所
法律相談 ●1月11日(水)・2月1日(水)
受付:午後6時半~8時

FBは大橋みえ子で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/牧野事務所
法律相談 ●1月25日(水)・2月22日(水)
受付:午後2時~4時

ツイッター@kenji_makino FBは牧野けんじで検索を